

特別支援学級 算数科学習指導案

日 時 平成20年10月8日(水) 5校時

児 童 2名

授業者 ○ ○ ○ ○

1. 単元名 「ひきざん」

2. 単元について

(1) 児童について

本児は、字を読むことは得意で、本や新聞等に長時間集中することができる。

(中略)

そこで、数字に関わる直接的な経験を広げ、生活の中での数量的な感覚を豊かにするために、できるだけ身の回りの題材を使って学習を進めるようにしてきた。

具体物を使った算数的活動には興味をもって取り組むようになってきており、計算をしていてわからなくなると、自分から具体物を使って考えようとするようになってきた。

(2) 教材について

18までの2位数から1位数をひく繰り下りの筆算を一学期に学習した。ここでは、その学習をふまえ、減法を用いる場合の意味理解を更に深めるとともに、2位数－2位数の十進位取記数法と関連づけた筆算のしかたを学習する。

計算方法をしっかり理解するまでは求残の意味で学習させ、求差や求補は実態を考慮しながら進めたい。

(3) 指導にあたって

今回は、最近興味を持ち始めてきたお金

1. 単元名

「はしたの大きさの表し方を考えよう」

2. 単元について

(1) 児童について

本児は算数が大好きで、規則性のある内容については理解が早く、計算も正確である。操作活動をしたり図に書いて説明したりすることも自分なりに工夫しながら楽しんで行う。

(中略)

そこで、できる

だけ生活と結び付いた題材を用意し、具体物を使った算数的活動を取り入れ、実際の操作活動とことばを結びつけるようにしてきた。

(2) 教材について

小数については初めての学習となる。「小数は単位量に満たないはしたの量を表すことができるということ」「小数も整数の記数法と同じ十進法の原理で表現されていること」「小数についても加法減法ができるということ」をここで学習する。

これまで、生活の中で目にしていた小数の持つ意味を理解できるようになることが目標である。

(3) 指導にあたって

本児は、数字に強く、規則性のある事柄の理解は早いので、測ったり、計算したりすることは容易にできると思われる。しかし、関

を使って、総合的な学習と関連づけながら、学習を進めたい。

また、まだ10までの数の計算にも時としてとまどいを見せるので、学習をスムーズに進めるために、百玉そろばんやブロックなどをそばに用意し、具体的な操作活動が常にできるようにしておく。

係性の意味理解が不得手なので、形式的な数字操作のみに流れてしまわないように、具体物を使った操作活動をていねいに繰り返し行い、数と結び付け、実感を伴った理解をさせるようにしたい。そのためにも、「問題の文章の大事な言葉や数字に何度も立ち返らせること」「必ず言葉にして認識させながら操作させ、言葉でまとめること」を心がけたい。

5 単元指導計画
3年生

| | 目 標 | 算数的活動 | 育てたい力 | おもな評価規準 |
|---------|--|---|--|---|
| 1 | ○減法の筆算形式を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこの場面を設定し、問題の意味を理解する。 ・$39 - 15$の計算のしかたについて具体物を使って考える。 ・筆算のしかたを説明する。 〈意味理解を深める〉 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習と同じように解くことができないかと考える。 ・順序よく話す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2位数－2位数の筆算のしかたを理解している。 |
| 2 | ○減法の筆算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・練習をする。 | | |
| 3 | ○2位数－1、2位数（繰り下がりなし、空位、欠位あり）の筆算のしかたを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・$37 - 20$、$37 - 27$、$30 - 2$、$37 - 35$ $37 - 5$の筆算のしかたを具体物を使って考える。 〈意味理解を深める〉 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習をよりどころとしながら解く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2位数－1、2位数（繰り下がりなし、空位、欠位あり）の筆算が |
| 4 | ○2位数－1、2位数（繰り下がりなし、空位、欠位あり）の筆算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・練習をする。 | | |
| 5 本時 | ○2位数－2位数（繰り下がり有り）の筆算のしかたを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこの場面を設定し、問題の意味を理解する。 ・$45 - 18$の計算のしかたについて具体物を使って考える。 ・筆算のしかたを説明する。 〈意味理解を深める〉 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習と同じように解くことができないかと考える。 ・順序よく話す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆算は数のしくみ（十進位取り）をもとにして、繰り下がりのある場合の筆算のしかたを考えている。 |
| 6 | ○2位数－2位数（繰り下がりあり）の筆算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・練習をする。 | | |
| 7 | ○2位数－1、2位数（繰り下がりあり、空位、欠位あり）の筆算のしかたの理解を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・$40 - 18$、$45 - 38$の筆算のしかたを具体物を使って考える。 〈習熟を図る〉 | | <ul style="list-style-type: none"> ・2位数－1、2位数（繰り下がりあり、空位、欠位あり）の筆算ができる。 |
| 8 | ○計算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・練習する。 | | |

4年生

| | 目 標 | 算数的活動 | 育てたい力 | 主な評価規準 |
|---------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 | ○身の回りにある小数さがしをし、小数への関心を高める。 | ・身に回りから小数で表示されたものをさがし、その意味を考える。 〈生活と結びつける〉 | | ・小数に興味をもってさがしている。 |
| 2 | ○単位量に満たないはしたの大きさを表すのに小数が用いられることを理解する。 | ・いろいろな連続量を実際に測り、はんばな部分の表し方を考える。 ・かさ | | ・はしたをどのように表したらよいか考えている。 |
| 3 | | ・いろいろな連続量を実際に測り、はんばな部分の表し方を考える。 ・長さ | ・既習と同じように解くことができないかと考える。 | |
| 4 | | ・いろいろな連続量を実際に測り、はんばな部分の表し方を考える。 ・重さ 〈意味理解を深める〉 | ・既習をよりどころとしながら解くことができる。 | |
| 5 | ○小数も数直線に表せることや、小数の位取りについて理解する。 | ・数直線上の値を読んだり表したりする。 | | ・小数も十進構造になっていることをとらえている。 |
| 6 | ○簡単な小数の加減計算のしかたを理解する。 | ・場面をとらえ、具体物を使って、 $0.5 + 0.3$ $0.8 - 0.3$ の計算のしかたを考える。 〈意味理解を深める〉 | ・既習と同じように解くことができないかと考える。 ・順序よく話す。 | ・小数を単位の何個分をとらえて計算ができる。 |
| 7 | ○10分の1の位までの小数の加法の筆算のしかたを理解する。 | ・場面をとらえ、具体物を操作して $2.5 + 1.9$ の筆算のしかたを考える。 ・説明する。 〈意味理解を深める〉 | ・既習と同じように解くことができないかと考える。 ・順序よく話す。 | ・小数の加法の筆算ができる。 |
| 8 | ○計算ができる。 | ・練習する。 | | |
| 9 本 時 | ○10分の1の位までの小数の減法の筆算のしかたを理解する。 | ・場面をとらえ、具体物を操作して $4.4 - 2.8$ の筆算のしかたを考える。 ・説明する。 〈意味理解を深める〉 | ・既習をよりどころとしながら解くことができる。 ・順序よく話す。 | ・小数の減法の筆算ができる。 |
| 10 | ○計算ができる。 | ・練習する。 | | |
| 11 ・ 12 | ○学習内容を確実に身につける。 | ・練習問題に取り組む。 | | ・学習内容を用いて問題を解くことができる。 |

6 本時の指導

(1) 本時の目標

【3年】

○ 2位数－2位数（繰り下がり有り）の筆算のしかたを理解することができる。

【4年】

○ 10分の1の位までの小数の減法の筆算のしかたを理解することができる。

(2) 評価規準と具体の評価規準

【3年】

| 観 点 | A十分満足 | Bおおむね満足 | 不十分な場合の支援 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------|
| 【表現・処理】 2位数－2位数（繰り下がりあり）の筆算ができる。 | 2位数－2位数（繰り下がりあり）の計算のしかたを理解することができる。 | 2位数－2位数（繰り下がりあり）の筆算の具体的操作をすることができる。 | 具体的な操作を一緒に行うことを繰り返す。 |

【4年】

| 観 点 | A十分満足 | Bおおむね満足 | 不十分な場合の支援 |
|--------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------|
| 【表現・処理】 小数の減法の筆算ができる。 | 小数の減法について整数の計算と同じように、位をそろえて筆算をすることを説明することができる。 | 整数の計算と同じように、位をそろえて小数の減法の筆算をすることができる。 | 具体的な操作と計算とを結びつけて考えさせるようにする。 |

(3) 本時の指導にあたって

【3年】

本時は、一学期に学習した繰り下がりのあるひき算（ $13-9$ ）と、前時の学習（2位数－2位数繰り下がりなし）の理解が土台になる。そこで、既習事項でつまづいた時のために、学習で実際に使った具体物や学習の掲示等を準備しておき、児童の支援となるようにしたい。

苦手意識が強いので、教師と一緒に考えたり操作したりすることを授業の基本としたい。「スムーズに学習が進み、今日の勉強ができた」という満足感を持たせるように授業を進めたい。

【4年】

算数が大好きで、わからないことにも前向きにがんばるので、できるだけ自分で学習を進めさせた。計算力はあるので、前時のたし算のやり方がわかっているれば容易にできるであろうと思われる。ひとり学びでとまどったりつまづいたりした時のために、前時の学習の既習事項をわかりやすく掲示等で示すようにしたい。

(4) 本時の展開

| | | 3 学年 | | 4 学年 | | |
|---------------|--|--|--|---|--|------|
| 段階 | 支援, 評価 及び 指導上の留意点 | 学習活動 | | 学習活動 | 支援, 評価及び 指導上の留意点 | 段階 |
| つかむ | <ul style="list-style-type: none"> 音読して大事な数字を確認し、問題の意味をつかませる。 前時を想起させる1の位から引けないことに気づかせ、本時の課題へ導く。 | <p>1. 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>ひろこさんは、45円もっています。18円のガムを買いました。のこりはいくらですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 立式する。 $45 - 18$ <p>2. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>1のへやから引けないときはどうしたらよいか考えよう。</p> </div> | | <p>1. 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>4. 4kgのお米のうち、2. 8kg使いました。お米は、何kg残っていますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 立式する。 $4. 4 - 2. 8$ <p>2. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>小数のひきざんのやくそくを考えよう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 音読して大事な数字を確認し、問題の意味をつかませる。 前時のたしざんの約束を想起させ、見通しをもたせる。 | つかむ |
| しらべる たしかめる | <ul style="list-style-type: none"> 位を意識させるために、正しくへやにおくようにさせる。 既習の13-9の計算で10のまとまりを崩したことを思い出させる。(その時に使ったティッシュの箱も用意しておく。) | <p>3. 具体物を操作して答えを出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10円玉と1円玉をそれぞれのへやにおく。 1の位から引けない時はどうすればよいか考える。 10円玉を1円玉10個にくずせばよいことに気づく。 操作して答えを出す。 | | <p>3. 具体物を操作して考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートに問題と式を書く。 1kg入りの米の袋と0. 1kg入りの袋を、位取りの下敷きの上に置いて、実際に操作してみる。 操作したことをもとにして、筆算をやってみる。 計算のやくそくを考えてノートに書く。 説明の練習をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 繰り下がりでつまづいた時は、3年R児の活動に参加させ、思い出させる。 前時のたしざんの時の約束を思い出せるように掲示しておく。 | しらべる |

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|--|-----------------------|
| ま と め る | <p>○操作しながら自分の言葉で説明することができたか。</p> <p>・何問やるか本人に決めさせる。</p> | <p>4. 課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>1のへやからひけないときは10円玉を1円だまにくずせばよい。</p> </div> | | | |
| | | <p>5. 練習問題を解く。</p> | <p>4. 説明する。</p> <p>・具体物を操作しながら説明する。</p> <p>・筆算のやり方を説明する。</p> <p>・計算のやくそくについて説明する。</p> | <p>・言葉の使い方が誤っている場合は補足しながら繰り返して言わせるようにする。</p> | た し か め る |
| | <p>・がんばったことを確認し、満足感を与えるようにする。</p> | <p>6. 今日の学習についてふりかえる。</p> | <p>5. 課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>①位をそろえる ②整数のたし算と同じように計算する。 ③答えの小数点を打つ。</p> </div> | <p>・本人の書いたものを使って確認するようにする。</p> | ま と め る |
| | | <p>6. 今日の学習についてふりかえる。</p> | <p>6. 今日の学習についてふりかえる。</p> | <p>・がんばったことを確認し、満足感を与えるようにする。</p> | |